

令和6年度看護学科入学者選抜試験 国語総合 試験問題

著作権上の問題が発生するため、引用した文章は、いずれも省略しています。

問題1 次の文章をよく読んで後の問いに答えなさい。なお、設問の都合上、一部を省略したり表記を変更したりしています。

次の文章として、『自由が上演される』2022、渡辺健一郎、講談社 を引用しています。

問1 下線部①から⑧のカナカナを漢字で書き換えなさい

①ヨギ →余儀 ②カンシ →監視 ③カクリ→隔離 ④ザンテイテキ→暫定的
⑤タンポ→担保 ⑥ツウテイ→通底 ⑦カイヒ→回避 ⑧キソン →既存

問2 波線部「規律訓練型権力」、「環境管理型権力」とはどのようなものか。それぞれの意味を分かりやすく説明しなさい。

問3 下線部（ア）はどのような意味か。「系譜」という言葉を使用しないで分かりやすく書き換えなさい。

下線部（ア）「アクティブラーニングもワークショップ論の系譜にあります」

問4 下線部（イ）はどのような意味か。「ワークショップでは」から書き始めて説明しなさい。

下線部（イ）「極めて危ういパワーを発揮する可能性をはらんでいる」

問5 下線部（ウ）では「抵抗の契機は次第に失われていってしまう」と述べられていますが、失わないためにはどのようにすることが考えられますか。あなたの考えを文章Iの語句を使って説明しなさい。

問題2 ①は「食べられなくなった時を最期に」という新聞の投書です。②から⑤は、その投書を読んだ方からの返書です。これらを読み、「最期」についてのあなたの意見を分かりやすく400字以内で書きなさい。ただし、次の条件にしたがって書くこと。

- ・タイトルをつけること。
- ・意見文としての段落構成や段落のつながりをよく考え、論を展開すること。
- ・冒頭で支持する（支持しない）投書を選び、その内容にふれるとともに、あなたの立場を明確にすること（扱う投書は番号で示すこと）。
- ・あなたの考えに対する予想される反論や再反論も示して論を深めること。

*あなたの意見の内容については評価の対象としません。

①として、2018年6月27日付けの朝日新聞に掲載された投書を掲載しています。

②のタイトルは、「点滴での最後 必要だったのか」

③のタイトルは、「家ででの看取り 美化しすぎでは」

④のタイトルは、「本人の望む治療を尊重したい」

⑤のタイトルは、「緩和病棟の家族ケアも大切に」 となっています。